

## 図書館

### 1 図書館サービスの方針

図書館は、利用される方のための身近な生涯学習の場となるよう、常に幅広い分野の最新情報を収集し提供する。

図書館のホームページや町広報誌などから、資料や図書館イベントなどの情報をはじめとする多様な情報を提供し、図書館の情報化を図る。

また、読書に親しむ環境を整え、多様な内容の講座を開催するなど多くの方に利用していただける図書館を目指す。

### 2 平成22年度の実績

#### (1) 図書館資料整備及びサービス事業

- ・開館日数 281日（開館1日あたりの入館者数643人）
- ・図書資料購入受入数 4,318冊（年度末図書資料数 130,772冊）
- ・視聴覚資料購入受入数 130点（年度末視聴覚資料数 4,867点）
- ・登録者数 1,387人（年度末延登録者数 29,083人）
- ・貸出人数 63,379人
- ・貸出点数 298,522点

（住民ひとりあたりの貸出点数8.2点 平成23年4月1日現在の人口36,459人）

- ・予約冊数 4,588冊（内インターネットでの予約2,042冊）

#### 〔点検・評価〕

多くのかたに図書館を利用していただくために、ホームページへの情報量を増やした。また、クローバーチャンネルで紹介番組を放送したり、クローバーテレビの情報誌に掲載したりするなど、図書館のPR活動を積極的に行ってきた。その成果もあり、インターネットを利用した蔵書検索と予約の件数が、大幅に増加した。

今後も、図書館資料の充実を図るとともに、多様な方法により最新情報を提供することができるように努める。

#### (2) 図書館行事開催事業

行 事 名	開催日または回数	参加者数	内 容
おはなしのじかん	年69回	計754人	幼児・児童が読書への意欲と興味を持てるよう、ボランティアによる絵本や紙芝居等の読み聞かせ会を開催した。

行 事 名	開催日または回数	参加者数	内 容
おはなしたまてばこ	平成 23 年 3 月 6 日(日)	計 47 人	幼児・児童を対象に、手遊び・大型絵本の読み聞かせ・エプロンシアター等を、おはなしのへやで開催した。
読 み 聞 かせ 講 座	平成 22 年 9 月 26 日(日) 2 回 平成 22 年 10 月 3 日(日) 1 回	計 65 人	家庭で読み聞かせをしているかたを対象に、読み聞かせの勉強会を開催した。
映 画 会	年 1 2 回 毎月第 3 土曜日	計 179 人	児童向けと一般向けに分けて、ビデオや DVD の上映を、アメニティホールで実施した。
学 習 室 の 利 用	2 8 1 日	計 4,950 人	2 階ミーティングルームとアメニティホールを学習室として利用した。
視聴覚ブースの利用	2 8 1 日	計 5,049 回	ブースを利用し、図書館所蔵の視聴覚資料を視聴した。
ギャラリーの利用	年 7 回	—	学校教育事業及び生涯学習事業等の成果発表の場としてギャラリーを利用した。
クローバーチャンネルでの放送	年 3 回	クローバーチャンネル放送を登録しているかた	クローバーチャンネルの番組で、蟹江町図書館の行事や取り組みなどを紹介し、蟹江町内外のかたに広くアピールした。

行 事 名	開催日または回数	参加者数	内 容
クローバーテレビのチャンネルガイドへの情報掲載	月 1 回	クローバーチャンネル放送を登録しているかたやその他店舗など	クローバーテレビ月 1 回発行のチャンネルガイドに情報を掲載し、より多くのかたに図書館を紹介した。
学校図書主任者会	年 2 回	町内学校図書主任始め計 19 人	町内小中学校と連携をとり、図書の活用方法や選書について話し合い、図書館の有意義な活用方法について意見交換した。
小学校の図書館見学	年 4 回	計延べ 349 人	町内の小学生が図書館の利用について学習した。
中学校の体験学習	年 2 回	計延べ 10 人	町内の中学生が、図書館の仕事を体験し、図書館の仕事についてや、社会の中で働くことについて学んだ。
子どもの本の会	年 10 回	計延べ 61 人	子どもの本について話し合う会「子どもの本 WAVE かにえ」が図書館和室で話し合いを行った。
海部・津島朗読ボランティア交流会	年 1 回	30 人	海部・津島朗読ボランティアが、交流会を行った。
視 察	年 1 回	4 人	あま市美和図書館職員が来館し、当図書館を視察した。

〔点検・評価〕

子ども達が本に親しめるように、読み聞かせを月6回程度定期的に行っており、親子で参加できる読み聞かせ講座を3回開催し、多くのかたが参加された。

毎月上映される映画会では、児童向けから一般向けまで幅広い内容の映画を上映し、多くのかたが来館された。

図書館内の施設の利用としては、学習室のスペースを増やすことにより、できるだけ多くのかたに利用していただけるように変更した。さらに、ギャラリーを生涯学習事業等の成果発表の場として開放し、展示等を行うことは好評を得ている。

また、町内の小中学校の児童・生徒の図書館見学や職場体験は、子ども達が図書館に興味を持つ良い機会となっている。

今後も、様々な分野の図書館講座を開催することや、読み聞かせを充実させることにより、図書館事業の拡充を図る。さらに、クローバーチャンネルでの放送やホームページ掲載の情報量を増やすなどのPR活動を行うことにより、多くのかたに図書館を利用していただけるように努める。